

国際交流特集号

中国高校生 訪日団来校



お揃いのエプロン・バンダナをつけて調理

10月20日、中国の高校生20名が本校を訪れ、国際交流を行った。これは、文部科学省が主催する「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として行われたもので、総勢200名の高校生が10月18日から26日まで、8つのグループに分かれて日本各地の高校を訪れることになっている。本校を訪れたのは、海南省の高校生で、到着後5つのグループに分かれて数

一緒に授業 太巻き寿司づくりも

学・音楽・O C 1・書道など授業に4〜5名ずつ参加した。書道では特別に用意された篆刻を楽しんだり、音楽では一緒に「世界に一つだけの花」を日本語と中国語で合唱するなどの文化交流を行うことができた。

さらに、2年3組の生徒とともに、千葉伝統郷土料理研究会の講師のもと、保護者方など多数の協力を得て、先にメロス言語学院の生徒と一緒に



珍しい貝の記念品をいただいた



第10号
発行
県立市川昂高等学校
市川市東国分1-1-1
047-371-2841



忠南高校校舎

韓国 ホームステイ受け入れ家庭募集 訪日団

10月31日の保護者あて文書でお知らせしたように、来年1月5日から9日に、姉妹校である韓国忠南高校の男子生徒8名と引率教諭1名が、訪日交流ホームステイを計画している。このため、ホームステイの受け入れ先を募集しているので、ぜひ、手を挙げてもらいたい。



忠南高校校旗

和やかに講座が行われた



11月1日の放課後、現2年生のうち来年度中国語・韓国語を選択する生徒を対象に、各言語に親しむための入門講座を開催した。講師として、提携協力校であるメロス言語学院から男女それぞれ2名ずつの学生を招いた。最初緊張していたのは

今年度、先生方もアジアへの訪問が相次いでいる。小原教諭が8月26日から9月4日まで韓国へ、笹川教諭が10月12日から18日まで中国を訪れた。今後大隅教諭が韓国、齊藤校長が中国を訪問し、国際・文化交流を行う予定である。

韓国語・中国語 入門講座 行われる

練習していた、太巻き祭り寿司をつくった。生徒も初めて体験で、とまどいながらも中国の高校生と互いに教え合いながら、最後にはきれいなバラの模様の太巻き寿司を完成させ、おいしく食べることができた。その後、吹奏楽部が作

製したフォトフレームを記念品に受け取り、次の訪問先である兵庫県に向けて旅立って行った。保護者の皆様には、準備を始め、教室の飾り付けまで中心になって活動していただきました。感謝申し上げます。

むしろ講師の方で、昂高の生徒は最近芸能界におけるアジア人気のノリで、積極的に参加し場を盛り上げていた。初歩的な日常会話だけでなく、国による若者の考え方の違いを知るなど、終始なごやかな笑い声が絶えない、あつという間の1時間だった。

国際交流・先生も アジアへ続々と